

「ごみ処理有料化制度（案）」に対するパブリックコメント手続きの結果

1 パブリックコメント手続き概要

- 意見募集期間：令和7年2月3日（月）から令和7年3月3日（月）まで
- 意見提出数：77通（直接提出：4通、郵送：3通、ファクシミリ：2通、電子メール：9通、意見提出フォーム：59通）

2 提出された意見の概要（※同一内容で複数いただいた意見は、集約して記載）

【ごみ処理の現状について】

- ・ごみ焼却量は、過去5年の傾向から近似線を作成するとほぼ達成可能ではないか

【ごみ減量・資源化の取り組みについて】

- ・自治会やステーション利用者を介してごみ量をへらす方策（ポスター、ビラ、施設見学、勉強会）について支援いただきたい
- ・各種ごみ減量・資源化施策を推進すべき
 - ▶ 資源分別回収の効率化、古紙回収ボックスの拡充
 - ▶ 雑がみ回収、生ごみたい肥化の推進

【ごみ処理有料化の実施について】

- ・ごみ処理有料化に賛成。できればしてほしくないが、致し方ない
 - ▶ ごみ排出量の削減、資源分別の意識付けにつながる
 - ▶ 周辺自治体からの持ち込みや公平な負担から実施すべき
 - ▶ プラごみを分けるようになって普通ごみが半分位になっていたが、このところ以前に戻る傾向がある
 - ▶ 岐阜市の周りの市は、ごみ処理を有料化しており致し方ない
- ・ごみ処理有料化に反対
 - ▶ 物価が高騰している中、なぜこのタイミングで実施するのか
 - ▶ ごみは減少している
 - ▶ ごみ収集回数を減らす、人件費削減などで、市財政を効率化すればよい
 - ▶ まず事業系ごみを有料化すべき

【家庭系ごみ処理有料化制度について】

○家庭系ごみ処理手数料の料金水準

- ・ごみ袋の値段が45リットルで50円は高すぎる
- ・ごみ袋の単価は、必要経費を算出し、ごみ袋の量で割って出す必要がある

○家庭系ごみ処理手数料の徴収方法

- ・もっと小さいごみ袋も用意してほしい
- ・袋が縛りやすいごみ袋にしてほしい
- ・ごみ袋に自治会名及び氏名を記入すべき
- ・当面の間はシール方式も併用することが望ましい

○家庭系ごみ処理手数料の減免

- ・住民税非課税世帯、重度障がい者、母子家庭を減免対象としてほしい

- ・子育て世帯への補助を検討してほしい

○家庭系ごみ処理手数料収入の使途

- ・手数料収入の使い道をしっかり公表してほしい
- ・有料化で確保した予算は、ごみ処理に関する項目のみで使用してほしい

【事業系ごみ処理有料化制度について】

- ・事業系資源ごみの分別を促した方がごみの量は減るのではないか
- ・少量排出事業者への配慮が必要な理由が記載されているが、排出者責任を免責する妥当な理由ではない
- ・家庭系と事業系の指定袋は、明確に違いを区別できるデザインとしてほしい

【ごみ処理有料化に伴う併用施策について】

- ・「地域のごみ処理支援施策」「ごみの減量・資源化施策」は、柱として取扱っていただきたい
- ・家庭系剪定枝の資源化の対象に落ち葉、刈草も含め、併せて無料での回収を検討してもらいたい

○地域のごみ処理支援施策

- ・実効性のある提案をしてほしい
- ・「自治会が管理するごみステーションを利用していない市民」や「自治会非加入者」からの意見や視点が欠落している
- ・自治会加入世帯に対しての有料指定ごみ袋配布に賛成
 - ▶ 自治会が設置、管理しているごみステーションを、加入していない方が使用することに不公平感を感じる
 - ▶ 自治会に加入するメリットを明確にしていきたい
- ・自治会加入世帯に対しての有料指定ごみ袋配布に反対
 - ▶ 自治会が設置しているゴミステーションにゴミを捨てていない
 - ▶ ごみ袋の配布という新たな負担が発生し、また、ゴミステーションの管理責任を自治会が負うという既成事実が醸成されかねない

【不適正排出・不法投棄について】

- ・悪質な場合は罰則を定めるなど抑止力を持たせた施策とするのか
- ・ルール違反の生活ごみを残されても自治会としては困る
- ・ごみステーション早朝パトロールの実施を誰が行うのか
- ・有料化によりコンビニなどからゴミ箱がなくなることで、街にポイ捨てが増えることを懸念する

【ステーション管理のルール化について】

- ・ごみステーションは自治会と自治会未加入者が色々な形態で設置・管理している。市としてあるべき適正な形態を明確に市民に示していただきたい
- ・戸別収集は認めず、基本は自治会管理のゴミステーションとする。自治会未加入者は、自治会の許可を得てごみステーションを利用する
- ・集合住宅以外のステーションを廃止し、戸別収集にすればよい